

14/06/2015 18:43 [Paquetej-デザイン](#)

日本のパッケージ、アルゼンチンで革新的デザインを紹介

CATEGORÍA: ECONOMÍA / CARACTERES: 2327 / REDACCIÓN: CENTRAL

Localización Buenos Aires / Argentina

Etiquetas [Japón](#) / [diseño](#)

- アルゼンチン首都の中心地のあるホテルにて開催された『ハボン・ディセニャ（日本デザイン）2015：ブランディングとパッケージデザインの最新トレンド』では、日本企業がデザインしたパッケージが紹介された。

ハサミものりも使わずに紙を折って作る日本のアートテクニックである折り紙を彷彿させるパッケージは、日本の食品、化粧品、工業製品などのパッケージを紹介するセミナーにおいて、最もひらめきを与える一つとなった。

本セミナーには日本を代表する講師が集結し、参加したアルゼンチンの人たちにパッケージ業界のインベーションについて講演を行った。

「我々が扱うパッケージ素材は、紙、ボール紙、プラスチック、ガラス、アルミ缶など様々」と、デザイン会社ブラビス・インターナショナルの創始者かつCEOで過去に日本パッケージデザイン協会の理事長も務めたフミ・ササダ氏はアルゼンチン国営放送テラムに語った。

ブラビス・ブエノスアイレス支社代表のアルゼンチン人セサル・サナルディ氏は「日本のデザインの革新的な技術と印刷技術の高さに敵うものはない」と語る。また、「クライアントの要望に応じてデザインの質感やディテールにこだわる」と、日本が持つパッケージに対する美的感覚についても話した。

セミナーではデザインの成功事例として、コーヒー缶とコーヒーメーカーのデザインを紹介。また、ビール缶、フルーツカクテル缶、お茶のペットボトルのデザイン等も紹介された。

「パッケージデザインのみならず、ブランド戦略、商標ロゴもデザインしている」とサナルディ氏は説明した。

一方、アルゼンチンパッケージ協会（IAE）の代表ホルヘ・アセド氏はテラムに対し、「日本がパッケージデザインの改良を始めたのは10年前。アルゼンチン企業が同様にデザインに投資ができるかどうかはそれに掛かる費用による」と述べた。

フミ・ササダ氏の他、パナソニックの姫田典子氏とサントリーの永田麻美氏も講演。それぞれ、乾電池やバッテリーのデザイン、ビール及びウィスキーのパッケージデザインについて紹介していただいた。

セミナーにはオーストラル大学、アルゼンチンパッケージ協会（IAE）、食品関連企業をまとめる機関である食品産業事務局（COPAL）の代表者たちも出席した。

ÚLTIMOS CABLES

23/07/2015

JORNADA CON CIELO NUBLADO, NEBLINAS, BANCOS DE NIEBLA Y MÁXIMA DE 18 GRADOS

23/07/2015

AL MENOS 30 MUERTOS Y 67 HERIDOS POR DOS ATENTADOS EN NIGERIA

23/07/2015

TÍTULOS DE TAPA DE LOS MATUTINOS PORTEÑOS

23/07/2015

LA BOLSA DE TOKIO SUBIÓ 0,43 POR CIENTO AL CIERRE

23/07/2015

TAIWÁN CONTROLA USO DE DRONES POR TEMOR AL ESPIONAJE

0 AVISOS

ÚLTIMA HORA

(3) CABLES
(0) GALERÍAS
(0) AUDIOS
(0) INFOGRAFÍAS
(0) VIDEOS